

第1期 広聴・新ビジョン調査プロジェクト  
資料編



令和4年3月

若手職員で構成され発足した  
 広聴・新ビジョン調査プロジェクトチーム



## 令和デザイントークとは…

「開かれた市政」を目指すべく発足した「広聴・新ビジョン調査プロジェクトチーム」により、**広く市民の声を聴くために開催される新しい市民との対話の場**のことです。

その目的は、市民の声を政策や次期総合計画へ反映することに加え、市若手職員の人材育成・政策形成能力の向上など、さまざまな分野への波及や広がりを目指しています。



「令和デザイン  
 トーク」

始動！

開かれた市長室へ

## トークの要旨

開催日／令和2年11月25日(水)

開催場所／市役所本庁市長室

トークテーマ／

新型コロナウイルス感染症流行下における飲食店の状況などについて

出席者／

○県飲食業生活衛生同業組合  
 薩摩川内支部

- ・ 諏訪浩文支部組長
- ・ 青崎裕支部副組長
- ・ 浜野一弘支部副組長

○薩摩川内市

- ・ 田中市長
- ・ 坂元観光・スポーツ対策監
- ・ 中島グループ員



11月25日(水)、第1回となる令和デザイントーク(当時の名称は(仮称)令和塾)が、市役所市長室で開催されました。

第1回令和デザイントーク開催！

- 出された主なご意見は、次のとおり
- 1～2年後に始まる融資の返済に不安がある。
- 葬祭などの縮小、国体やスポーツ大会などの中止で大きな影響を受けている。
- 家賃は、支援などにより、12月まで支払い済みの店もあるが、3、4月以降が心配である。
- プレミアム商品券やGOTOイート食事券換金の早めの振り込みをお願いしたい。
- 飲食店の料理や仕出し弁当を注文してスナックで飲食することを企業などに依頼・誘導できないか。



諏訪支部組合長らから、組合の概要やコロナ禍における業種別の現状、対策などの取り組みを聞いた田中市長は、「全国的に新型コロナウィルスの感染拡大が、再び進みつつある。組合活動として、勉強会も実施されており、今後も、組合員の情報共有や取り組みの情報発信を継続していただきたい。市としても本日の声を踏まえ、国の動向を見ながら、関連の補正予算を検討していきたい」と答え、開かれた市長室、開かれた市政への第一歩としました。

◎次回の掲載は、助産師の方とのトークを予定しています。



# 令和

reiwa design talk

## デザイントーク

第2回

## テーマ 産後ケアを中心とした助産師の現状と課題

### ご意見

- ・市が助成している産後ケア応援券の金額(5,000円)が少ないので検討してもらいたい。
- ・産後ケア応援券のことを知らない人が多い。周知方法を再検討してもらいたい。
- ・産後うつなどが原因で、デイサービス型の産後ケア事業に参加できないお母さんがいるので、今後、助産師と市民健康課でケアを必要とする母子世帯の情報交換を行うことができないか。

### 市長の回答

- ・実行可能なものは、予算化して令和3年度から取り組んでいきたい。
- ・長期的な視点が必要なものは検討して、今後の本市の総合計画の参考としたい。
- ・デイサービス型の開催の在り方、アウトリーチ(訪問)型の支援策の検討を含め、今後も現場で頑張ってくださいしている助産師の方々と担当課の連携を深めていきたい。

今回は、公益社団法人鹿児島県助産師会に所属され、本市に助産院を開設する助産師3人の方と「産後ケア」をテーマにして、助産師として活動し現場で困っていること、今後の産後ケア支援に必要と思われることについて意見交換をしました。

産後ケアの現場に立つ助産師の方々からご意見を直接お聴きした田中市長は次のように答え、今後の産後ケア支援策をはじめ、子育ての支援策を検討するに当たり、貴重な意見交換となりました。

**令和デザイントークとは…**  
 広く市民の声を聴くために開催される新しい市民との対話の場とし、次期総合計画への反映と市職員の人材育成・政策形成能力の向上などさまざまな分野への波及効果を目的としています。

### 第2回トーク要旨

- 開催日**／令和2年12月25日(金)  
**開催場所**／市役所本庁 応接室  
**出席者**／
- 公益社団法人 鹿児島県助産師会 会員
    - ・岩元助産院助産師 岩元妙子氏
    - ・るんるん助産院助産師 藤崎のみ子氏
    - ・ふわり助産院助産師 山下百恵氏
  - 薩摩川内市
    - ・田中市長
    - ・平原医療福祉対策監
    - ・宮地市民健康課グループ員

これから私たち「広聴・新ビジョン調査プロジェクトチーム」は、広く市民の皆さまの声を聞くため、さまざまな職種の方との対話の場を設けるなど「開かれた市政」を目指してまいります。

**広聴・新ビジョン調査**  
 プロジェクトチーム  
 第2回令和デザイントーク  
 運営担当 中島  
 広報担当 橋



※全体写真の撮影時のみマスクを外しております。

Satsumasendai City Public Relations

# 薩摩川内

広報

さつませんだい



5

May .2021  
vol.398



私たちが考える

まちの未来

薩摩川内市  
みらいアドバイザー



自治体広報紙配信  
アプリ「マチイロ」  
ダウンロード  
はこちら



市では、今回の政策提言発表を「令和デザイントーク(※)」と位置付け、当日は、田中良二市長をはじめ関係職員に加え、「広聴・新ビジョン調査プロジェクト」メンバーも集結し、川内高校と協同で運営や撮影などの記録と政策提言の審査を行いました。

### 第3回令和デザイントーク



#### ※令和デザイントークとは…

広く市民の声を聴くために開催される新しい市民との対話の場とし、次期総合計画への反映と市職員の人材育成・政策形成能力の向上などさまざまな分野への波及効果を目的としています。





第3回

# 「薩摩川内市」みらい アドバイザー ×

# 令和 reiwa design talk デザイントーク

私たちが考える  
まちの未来

薩摩川内市  
みらいアドバイザー(※)が  
政策提言を発表

3月19日、川内高校でみらいアドバイザー政策提言発表会が行われました。

これは、同校が変化の激しい未来社会を力強く生き抜いていくための知識、思考力、表現力を高める総合的な学習の時間として平成28年度に立ち上げた「可愛山プロジェクト」の一環として取り組んだものです。

昨年10月に、市がみらいアドバイザーとして委嘱した1年生266名が81のグループに分かれ、それぞれのテーマに基づき探究を行いました。

その成果がまとまり、学校内審査を経て、代表となった8グループ26名が今回、政策提言発表を行ったものです。

※薩摩川内市みらいアドバイザーとは…

市は、持続可能で魅力的なまちづくりの推進に当たり、中高生の視点から必要な意見・助言を求めため、本市の中学校や高校に在する方または本市に住所を有する中高生の中で、希望する方に薩摩川内市みらいアドバイザーとして委嘱をしています。令和2年度は、モデル事業として、川内高校1年生全員を委嘱しました。



最優秀賞は  
 テーマ「学生でも読める広報紙」の  
 16H 樋、村尾、柳川、四元グループ



最優秀賞は、「学生でも読める広報紙」をテーマに、校内の1年生に対しアンケート調査を実施し、各学校が持ち回りで記事を書く、「学校記事のコーナー」を作ることやSNSを活用して、広報紙のアピールをすることなどを提案した樋さん、村尾さん、柳川さん、四元さんのグループが受賞しました。

グループの一人、柳川さんは、「迷うこともあったが、仲間と協力し、薩摩川内市を思う気持ちが伝わるように、『自分たちならどうしたいか』という学生の視点を大切に、一生懸命取り組んだ。市について多角的に考えることができ、貴重な体験ができた。今後は、故郷である薩摩川内市はもちろん、社会全体に役立つよう学業などに励みたい」と話してくれました。

5 学生でも読

16H 樋さやか  
 柳川すずな

問題・課題

川内高校1年生の73%は読んだことがない

提案・提言

- ・各学校が持ち回りで校記事のコーナー
- ・SNSを活用してアピ

6 暮らしたい町・

13H 白石瑠偉  
 原田裕也

問題・課題

薩摩川内市の人口減少

提案・提言

- ・人口が増えている市住民の意見を参考に備の整備を

7 「訪れたい」を

16H 大石いずみ  
 下舞依吹

問題・課題

本市に足りない学習ホールの跡地利用

提案・提言

- ・川内文化ホールの跡して利用し、魅力あ

8 自然環境を

17H 高山愛梨  
 半澤香佳グループ

問題・課題

学生を対象に環境をせないか

提案・提言

- ・川内川流域の地域特学習プログラムを

優良賞  
 テーマ「Great Satsumasendai from great women」  
 16H 大石、小坂、下舞、東島グループ



また、優良賞には、『訪れたい』を「住みたい」に』をテーマに、閉館した川内文化ホールの跡地利用に、学習施設を整備することを提案した大石さん、小坂さん、下舞さん、東島さんグループが、優良賞には、「Great Satsumasendai from great women」と題して、女性管理職の登用のさらなる推進を提案した高原さん、登尾さん、平山さんグループが受賞しました。

政策提言発表会を終えて

学校を代表して運営を担当してくださった落雅博先生は、「今回の取り組みを通して生徒が改めて自分の住んでいるまちを見直す良い機会になった。『みらいアドバイザー』に委嘱していただき、政策提言を最終目標としたことで生徒たちは、『自分たちが薩摩川内市のために何ができるのか』を真剣に考えており、最終発表には頼もしさを感じた。

今後この取り組みを一過性のものにせず継続し、生徒たちの将来の進路や就職を決めるきっかけになれば」と話してくださいました。

これからも私たち「広聴・新ビジョン調査プロジェクトチーム」は、広く市民の皆さまの声を聞くため、さまざまな職種の方との対話の場を設けるなど「開かれた市政」を目指すべく、活動してまいります。

広聴・新ビジョン調査

プロジェクトチーム

第3回デザイントーク

審査員 伊原・中間

運営担当 橋

撮影担当 鮫島

広報担当 神川

## める広報紙

村尾陽彩  
四元心裕グループ

「広報薩摩川内」を

記事を書く「学  
の創設」  
ールを行う



最優秀賞

## 薩摩川内市

新森大樹  
恵瑚呂グループ

町村の取り組みや  
充実した施設や設



## 「住みたい」に

小坂陽向  
東島凜グループ

施設と川内文化

地を学習施設と  
るまちづくりへ



優秀賞

## 学ぶために

中原幸靖

学ぶ機会を増や

性を生かした



# 私たちの提案

各提言・提案から主なものを抜粋しています。(※敬称略)



優良賞



## 1 男女平等社会のために…

14H 石原蓮士 長友捺樹 福田海成グループ

問題・課題

なぜ女性の社会進出が進んでいないのか。  
その改善策とは

提案・提言

- ・保育所の増設
- ・ベビーシッターの増員
- ・延長保育の実施

## 2 Great Satsumasendai from great women

12H 高原明日翔 登尾裕成 平山夏帆グループ

問題・課題

本市の女性管理職登用は進んでいない

提案・提言

- ・各企業で、一定の基準を設け達成時には謝礼金を贈呈
- ・女性の管理職登用に積極的な企業を広報紙で紹介

## 3 子供の楽園 ～子育てしやすい環境について～

17H 二宮日菜里 日高朋哉 星原睦美グループ

問題・課題

子育てをするのに公園がほしい  
空き家問題の解消

提案・提言

- ・子供の成長の場である公園を整備
- ・リノベーションした空き家を休憩や飲食のできる場所に

## 4 少子化対策・未婚化・晩婚化 について

12H 枇杷天心 麥田迅グループ

問題・課題

少子化・未婚化・晩婚化の対策とは

提案・提言

- ・原発に頼らないまちづくり
- ・給付金や援助金の充実を
- ・子育て支援施設や保育施設などの増

## 講評・審査結果発表



全てのグループの発表が終わった後、田中市長の講評では、「それぞれのチームが関係部署やデータの調査、インタビューを重ね、非常に十分な準備がなされ、また、チーム内でもさまざまな議論があったことが伺えた」と話しました。

また、それぞれのグループの提案・提言に対しては、「女性の社会進出、子育て支援、環境配慮および人に優しいまちづくりについて、今後のまちづくりに確実に生かしていきたい。みらいアドバイザーの皆さんと共に大きな目標年度、新しいビジョンを共有しながらアフターコロナの中の薩摩川内市の発展にまい進したい。本日は、貴重な提言、アイデアを頂き元気が出た。ありがとうございます」と感謝の言葉がありました。

市長講評の後は、末永企画政策部長から、審査結果の発表があり、併せて表彰式を行いました。

